


2012年4月4日

**最先端のナノ構造形成技術開発を進める米国企業 Rolith, Inc.へ投資
～ナノ構造で高付加価値を実現するガラス開発に向けて～**

 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、高付加価値ガラスの開発を強化するため、最先端のナノ構造^(注)形成技術開発を進める Rolith 社（本社：米国カリフォルニア）に対して、AGCアメリカ株式会社を通じて、総額200万ドルにおよぶ投資を実施しました。AGCグループは、これまで培ったガラスのコーティング技術に Rolith 社のナノ構造形成技術を組み合わせることで、ガラスに対する様々な要求に応えていきます。

モバイル端末のカバーガラスへの指紋付着の抑制、電気自動車の省エネに貢献する窓ガラスの曇り防止、太陽電池の発電効率向上につながるカバーガラスの反射防止など、アプリケーションの拡大や進化に伴い、ガラスには様々な機能が求められています。例えば、AGCグループは、ガラス表面に機能膜を形成するコーティング技術の研究開発を押し進め、高い機能を持つガラスを提供しています。

現行のコーティング技術に代表されるガラス表面処理技術をさらに発展させ、より高い性能や多様な機能を持つガラスを実現する方法の一つとして、ガラス表面にナノ構造を形成する技術の研究が進んでいます。今般、当社グループが投資を行った Rolith 社のナノ構造形成技術は、ロール状のフォトマスクを回転させて、露光、現像する方式であり、大面積のガラス基板にナノ構造を短時間で形成することができます。

Rolith 社のナノ構造形成技術と AGCグループのコーティング技術を組み合わせることにより、ガラスのさらなる高機能化が可能となり、電子、ソーラー、自動車、建築など各分野の製品への応用が期待できます。

AGCグループは、今後も自社の技術開発を加速するとともに、投資や提携などを通じて得られた社外の優れた技術も活用し、ガラスの可能性を広げていきます。

(注) ナノ構造：数百ナノメートル（ナノは10億分の1）程度の規則的な凹凸パターンを持った構造。

◎本件お問合せ先：**AGC** 旭硝子(株)広報・IR室長 上田 敏裕
(担当：吉田 TEL:03-3218-5603、E-Mail:info-pr@agc.com)

<ご参考>

1. AGCアメリカ社の概要

- (1) 社名 AGCアメリカ株式会社
- (2) 所在地 アメリカ合衆国 ジョージア州 アルファレッタ
- (3) 資本金 16.89億米ドル
- (4) 設立 1986年
- (5) 事業内容 北米における関係会社の株式保有及び情報収集

2. Rolith社の概要

- (1) 社名 ROLITH, INC.
- (2) 所在地 アメリカ合衆国 カリフォルニア州 プレザントン
- (3) 資本金 535万米ドル
- (4) 設立 2008年
- (5) 事業内容 ナノ構造形成技術開発及び応用製品開発

3. Rolith社のナノ構造形成技術

